

京都市長 門川大作 様

岡崎地域活性化ビジョン（案）の提出について

平成22年7月から検討を開始しました「岡崎地域活性化ビジョン（案）」について、別紙のとおり取りまとめましたので提出します。

今日のまちづくりでは、行政とまちの主人公たるべき市民との協働、加えて企業・事業者の社会貢献が不可欠であります。

岡崎地域活性化ビジョン（案）は、50年後、100年後を見据えた京都・岡崎の将来像を設定し、地元の住民や施設関係者はもとより、広く市民、企業、行政などの関係主体が協働して取り組むべきまちづくりの羅針盤として検討を進めてきたものです。

ビジョン（案）の検討・作成に当たっては、京都市のプロジェクトチームと連携を図りながら、検討委員会委員の皆様から多くの意見をいただき議論を積み上げてまいりました。また、市民の皆様から565件もの貴重な意見やアイデアをいただき、それらの多くをビジョン（案）に反映させたまさに「協働によるビジョン」となっています。

岡崎地域は、東京遷都によって衰退した近代における京都の危機を乗り越える牽引力を発揮し、時代を先取りする形で進化を遂げてきた地域であり、こうした岡崎の進取の精神に則り、当ビジョンについても社会の変化に臨機応変に対応し、時代を先取りするように、絶えず「進化し続けるビジョン」として大いに活用していただくことを願って止みません。

平成23年3月22日

岡崎地域活性化ビジョン検討委員会
委員長 門内輝行